

新型コロナウイルス感染症対応病院長会議 報告

令和3年8月10日(火)午後4時から(TV会議)

議事1 国の通知を踏まえた宮城県の患者療養の考え方について

宮城県では国の通知によらず、今までどおりの方針(感染者は原則入院、ホテル療養、止むを得ない場合に限り自宅療養)現在ホテル療養は、850床確保、さらに8月16日から150床確保の予定。

議事2 陽性患者の受け入れ体制の強化について

感染者数の急増状態。8月8日現在療養者数は、736名。重症者数は、9名。L452R変異株の割合は、85%。ステージ分類(感染症対策分科会の)では、5つの指標のうち4つがステージ4。医療のひっ迫具合のみが低い、早晩ステージ4となる可能性。新規入院状況では20歳代から50歳代で79.1%を占め、19歳以下と60歳以上は各10%である。

病床確保計画 フェーズ5では、確保病床数は361、感染者急増時には453までの確保をお願いしたい。

夜間救急要請患者受け入れについて(仙台医療圏)輪番制を引いているが、満床の場合はそれ以外の病院にもお願いす

る。外来アセスメント、ことに土日実施してくれる医療機関不足。

議事3 入院優先度判断スコアについて スコアの修正、入院を絞り込む、肺炎像が両側だと6点だったが、両側合わせて1/2以下ならば3点へ。その他質疑応答では、入院した方が、ある程度収まったらば、ホテル療養に返しても良いか、中和抗体のカクテル療法は、入院のみ使用可能だが、外来使用も認めるべき、本来は軽症者に使用して重症化を防ぐ効能。日医でも厚労省に申し入れている。現在は、一般の救急に支障はまだ出ていない。

議事4 ワクチンの接種状況 10月までに2回接種終了、80%の予定。

私からは、仙台市民、県民に対する啓もう活動の必要性を述べた。

新型コロナウイルス感染症対応病院長等会議 (Web会議)

日 時 令和3年8月10日(火)
午後4時から
場 所 Web会議
(県庁会場：4階庁議室)

- 1 国通知を踏まえた宮城県の患者療養の考え方について【資料1】
- 2 陽性患者の受入体制の強化について
 - ・現状の感染状況等について【資料2-1～2-3】
 - ・今後の感染拡大に備えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について【資料3】
 - ・夜間救急要請患者受入体制の強化について【資料4】
 - ・外来アセスメントの受入体制の強化について【資料5】
- 3 入院の優先度判断スコアについて【資料6】
- 4 ワクチン接種状況・見込みについて【資料7】
- 5 その他